



ペンネーム	渋柿
-------	----

【エピソードのタイトル】

懐かしの中学校の応援

【エピソードの内容】

第一回から今回で6回目の参加です。毎回たくさんの方々にお世話になります。

年々スピードが遅くなり、時間がかかるようになりました。特に後半はアップダウンが応えゴールまでが厳しい道のりとなりました。

体調の方は一昨年と昨年の春に2度にわたり不整脈の治療を受け、走るのに万全の体になったはずですが、タイムは遅くなる一方です。

下関を離れて45年になりますが、この大会の開催を5年前に丸亀の私の家へ訪ねてきた古くからの友達から聞き、故郷であるこの大会に是非参加したいと思い以来毎年里帰りを兼ね参加して来ました。

懐かしい海峡の景色ときれいでにぎやかになった唐戸市場周辺、壇ノ浦から長府の昔の電車通りと潮の流れを楽しみ、後半は昔はなかった彦島大橋や日本海に張り出した島からの景色などで感動しながらもきつさとともにマラソンを堪能させられます。

特に昨年は壇ノ浦付近で出身校の名陵中学の応援の文字があり懐かしさとともにうれしさがこみ上げ、沿道で応援してくださる方に一層の感謝をしながらの走りとなりました。彦島のトンネルを過ぎてからの中学生の方たちの応援にも頭が下がる思いです。

いつまで走り続けられるのかわかりませんが今年もよろしくお願いします。

感謝をこめて ありがとうございます。

ずいぶん前に故郷を離れた渋柿より